

＜学校名＞ 白岡市立篠津中学校  
＜所在地＞ 白岡市篠津 2 6 1 7  
＜電 話＞ 0 4 8 0 - 9 2 - 1 5 0 8  
＜本事例の特徴＞

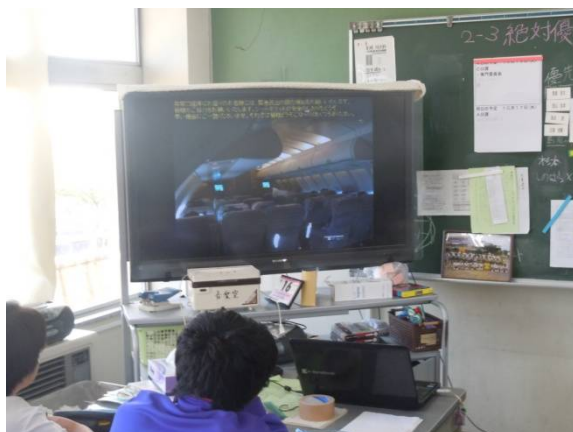
授業では、ICTを用いて文化や習慣の違いなどの理解を深めさせる授業を展開することが多い。また、本校に常駐しているALTに、授業の中で、母国と日本の文化や習慣の違いを比べながら話してもらったり、そのスピーチに対するクイズを作ってもらっている。

### ＜具体的な取組や成果＞

#### ○ICT教材を使った授業

ICT教材（パワーポイントや You tube）などを用いた授業では、「次はどんなものが出てくるのだろう」という興味をもって画面に注目する生徒が多い。英語を使って口頭で説明するだけではなかなか授業に入れない生徒も、ICT教材（パワーポイントや You tube）を用いることで学習内容を容易に掴めるため、生徒とのインタラクションを十分にするための教材としてコミュニケーション能力の育成に役立っている。

TOTAL ENGLISH 2 の Lesson 3 の中で、フライトアテンダントによる機内アナウンスを扱う授業で You tube を使って実際の国際線の機内アナウンスを聴かせ、内容の聞き取りや内容に関する質問をいくつか生徒に実施した。1回目では少々難しかったので、2回目の機内アナウンスの視聴を行うと生徒に告げたところ、多くの生徒が機内アナウンスの内容を聞き取ろうと必死に耳を傾けていたことが印象的であった。



#### ○ALTやALTの母語の文化と触れ合う取組

本校では、多目的室を English room（英語専用教室）として使用している。そこでは、ALTの母国の文化に触れることができるように、ALTに掲示物の作成を依頼し、生徒が気軽に異文化を知ることができるようにしている。授業においても、Culture time という時間を設けている。Culture time とは、はじめにALTに自らのことや母国の文化、習慣について

スピーチしてもらい、生徒はその情報をメモにとる。その後、ALTからスピーチの内容についての質問がいくつかされ、それに生徒が答えるという形式のものである。この活動は、Snake and ladder というゲームとともに扱うことが多い。

ゲームを併用することによって、生徒たちが生の英語の音声に親しみながら、異文化理解を深めることがねらいである。

### 多目的室（English room）の掲示物

